

ICT 通信

第30号



青梅市立第六小学校研究部

発行者 研究部 猪野郁也

発行日 令和4年1月31日(月)

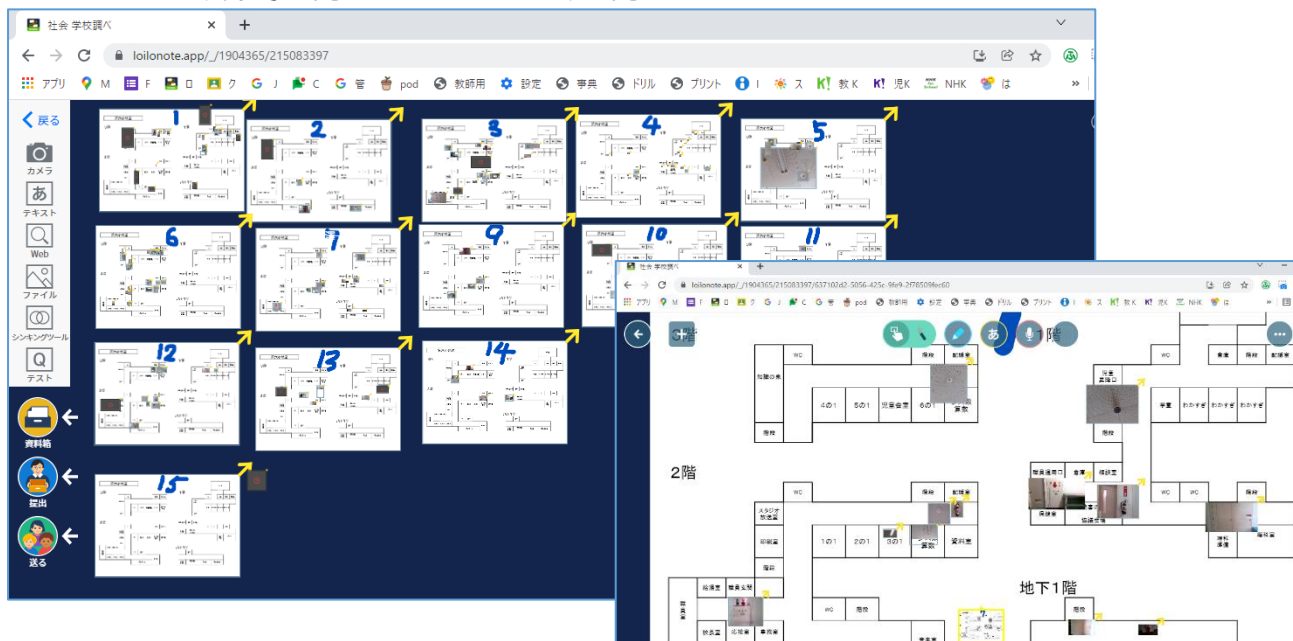
ロイロノートを活用した取り組み(共有ノート)

まだ試験中の機能ではありますが、ロイロノートには「共有ノート」という機能があります。通常のノートは新規作成したスペースを自分だけが操作する形になりますが、共有ノートに設定すると、1つのスペースを複数人が共有し、リアルタイムで協働することが可能になります。

青梅市で扱えるアプリには「Jam board」がありますが、このアプリと近い感覚で操作することができるようになります。その上、ロイロノートはJam boardに比べて1つのスペースの大きさの制約が小さいため、画像を基の画質のまま共有したりその中に付箋を挿入したりすることなどが容易にできます。共有ノートを活用して、下記のような取り組みをすることができました。

①学校の防災設備探し

校内の防災設備を探して、それぞれが自分の地図に写真を載せました。友達の地図を見れるようにすることで、友達が見つけたものを自分も見に行くことができました。



②地域安全マップ作り

地域安全マップを作成中です。写真の添付やコメントの修正などがしやすくなりました。

